

365日 が楽しくてたまらない! 「商売のヒント」

今月の商売のヒント：【商売はケ・セラ・セラ】

ヒッチコック監督のサスペンス映画『知りすぎていた男』では、ドリス・デイの歌う『ケ・セラ・セラ』が物語のラストに向けた重要な糸口になっていました。「大きくなったらきれいになれる? お金持ちになれる?」そう尋ねる女の子にママや学校の先生は言います。「ケ・セラ・セラ、なるようになる」。大人になると恋人にも聞きます。「幸せな未来が待っているの?」。恋人の答えも「ケ・セラ・セラ」。彼女が子どもを授かると、今度は子どもが尋ねます。「私はきれいになれる?」。「ケ・セラ・セラ、先のことなんて分からない、なるようになるわ」。小気味よいストーリーも巧みですが『ケ・セラ・セラ』はそれ以上の印象を残して映画は幕を閉じます。



「一休さん」の愛称で親しまれた一休和尚は遺言状を書いてこの世を去りましたが「大きな問題が起こるまで決して読むな」と言い残したそうです。弟子の僧侶たちは教えを守り、遺言状が開封されたのは一休和尚の死からしばらく経ってからのこと。大きな問題に直面していた僧侶たちがすすがる思いで開いた遺言状には、



こう書かれていたそうです。「なるようになる。心配するな」。とんち好きだった一休和尚らしい逸話です。

「なるようになる」といえば、沖縄の方言の「なんくるないさあ」が思い出されます。「なるようになる」とか「なんとなかる」という意味で知られていますが、沖縄の人に言わせると、生きていく辛さの中から生まれた深くて力強い言葉だそうです。ままならない世の中でも私たちは生きていかなくはなりません。でも、

誠実に真剣に生きていけばきつとうまくいく。それを信じる気持ちが「なんくるないさあ」なのでしょう。時代の変化のスピードは加速度を増し、商売のやり方も人の考え方も変わってきました。「今しかない」といいますが、本当になんとかできるのは、まさに「今の自分」のことだけでしょう。商売に正解はありません。うまくいかないときも「なるようになる」の精神で、今の自分にできることに集中したいものです。

トレンドを斬る

森永乳業などが大人向けに開発した大人用の粉ミルクが話題を呼んでいます。以前から健康維持や栄養補給を目的に乳幼児用

の粉ミルクを飲む大人がいましたが、脂質やカロリーが高く特に高齢者には栄養過多が懸念されていました。大人用として商品化された粉ミルクは、不足しがちなミネラルやビタミンなどを追加し食事と併用することで最適な栄養バランスとなるようです。甘い郷愁を誘う粉ミルクが、シニア世代の健康寿命を支える元気と活力の源となりそうです。



トナリの本棚

【本日は、お日柄もよく】

主人公が友人の結婚式で出会った感動的なスピーチを機に、言葉のプロとして独り立ちしていく物語です。こんな言葉を贈られたら泣いてしまうだろうと思う魅力的なスピーチの数々。言葉の持つ力を改めて感じさせられる感動の一冊です。



木永会計事務所
(有)ブレン・トラスト

〒861-8003

熊本市北区楠7丁目1-66

電話：096-337-3600 FAX：096-337-3601

<http://www.kinaga.co.jp>